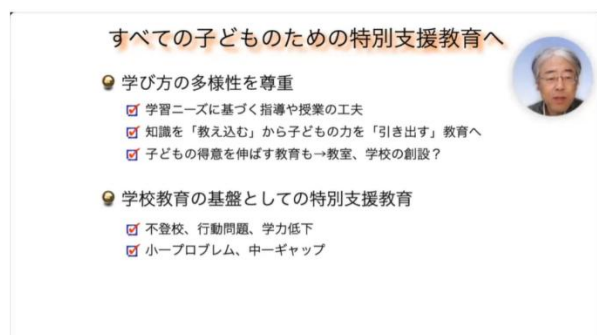


特別支援教育コーディネーターに求められる役割と専門性の向上 (2.展開編)



内容

特別支援教育の理念に立脚して、特別支援教育コーディネーターの役割について基本的な理解が得られるようにするとともに、特別支援教育の展開を進めていくキーパーソンとして、関係者へどのようなアプローチを図っていけば良いのか解説している。実際には、コーディネーター初任者を対象として、その役割の理解を中心とした「基礎編」と、経験3年目以降の者を想定して、特別支援教育から学校教育のリ・デザインを目指す「発展編」を設定した。これらに加えて、その中間的な位置づけとして、学校経営をふまえて校内体制を協働的に推進するための「展開編」を設定している。

コンテンツでは、コーディネーターや小学校校長を経験した大学教授や特別支援教育へ造詣の深い現職の小学校教頭へのインタビューを盛り込んで、学校実践との関連を深めるコンテンツとしている。

2 展開編(約 91 分)

ある程度の経験者(2年目)を想定して、校内体制の推進や通常学級の授業づくりの考え方について説明した。3部構成として、1学校づくりと特別支援教育の展開、2チーム学校へ向けての新しい専門性、3通常の学級における授業デザイン、を設定した。2の新しい専門性では、コーディネーターをミドルリーダーと位置づけて、そのリーダーシップが果たす役割についても解説している。1 基礎編(約 87 分)

コーディネーター初任者を想定して、特別支援教育の理念や基本的な役割について説明した。6部構成として、1特別支援教育について、2通常の学級と特別支援教育、3ニーズ見立ての考え方、4校内の連携、5地域(校外)連携、6特別支援教育コーディネーターに期待されること、を設定している。

講師 (所属等は令和 6 年 3 月時点)

兵庫教育大学 大学院学校教育研究科 教授 宇野宏幸